

伊賀における小地域集団としての「小場」.

野 崎 清 孝*

“Koba” Commune as a Small Socio-areal group in Iga

Kiyotaka NOZAKI

は し が き

村落構造を解明するに当たって村落を自生的、自然発生的個体としてとりあげるか、制度的、行政的個体としてとりあげるかの問題がある。両者は相互に結びつき関係している場合もあって完全に区別して考えることはできない。村落はそこに社会生活が営まれるとともに行政的にもそれが利用されるいくつかのマイクロな集団によって組成されている。これらの地域細胞というべき単位を小地域集団と呼び、例えば近畿では垣内、讃岐では免場・同行、薩摩・大隅では方限・門、周防・長門では組・小村、紀伊では小名、壱岐島では触・講中、小豆島ではジョなどの名称がある¹⁾。これらのうち免場と同行、方限と門、組と小村、触と講中はそれぞれ小地域集団の上位と下位の関係にある。例えば葬式組やユイ組織の単位として集団をとらえるならば自生的個体、例えば藩政村下の五人組の構成単位として集団をとらえるならば制度的個体としてそれぞれ村落をとりあげることになる。本稿が対象とした伊賀では小地域集団として小場の呼称が普遍的である。しかしてこのことについてはまだ解明されていない点が多く、以下に若干の考察を進めることとする。なお本稿は主として資料提示にとどめ、実態の分析は他日を期することとしたい。

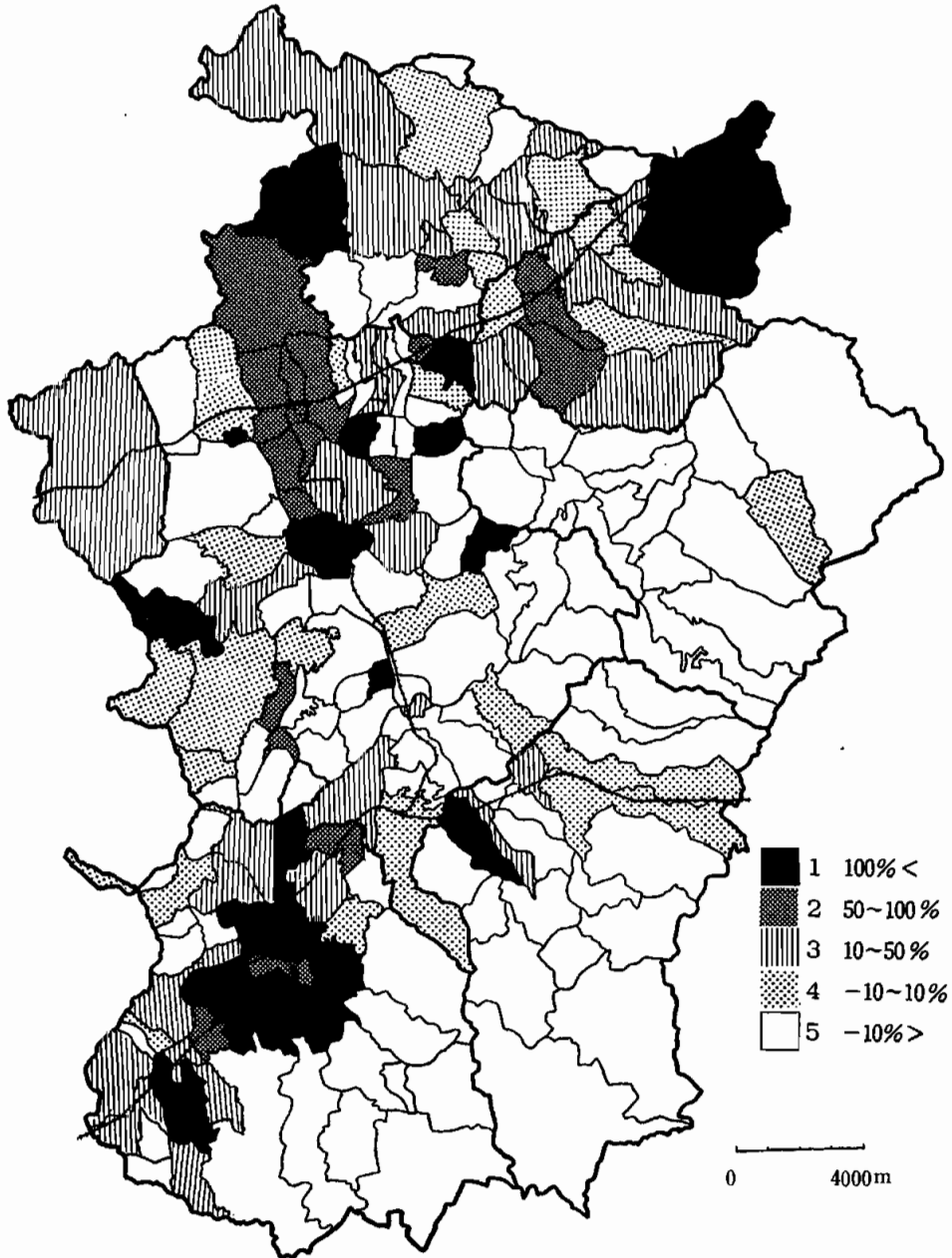
1. 地域の概観

伊賀は「四方の嶮山を囲いとして一国を城郭に用いて数十万の人の人数籠居の便宜、無双の勝手なり」（武将言行録）とあるように秘蔵の国であった。東は布引山地、西は大和高原、北は信楽高原・水口丘陵、南は室生火山群に囲まれ、北には島ヶ原断層崖、上野断層崖、西には花ノ木断層崖・岩屋断層崖、南には名張断層崖でめぐらされる内部に上野盆地が展開する。名張川は宇陀川、青蓮寺川を合せ、前深瀬川、服部川、柘植川を合せた木津川と京都府南山城村大河原付近に至って合流している。これらの河川の堆積をうけて狭義の上野盆地、名張盆地、山田盆地、柘植谷、友生・比自岐・阿保の小盆地などの盆中盆地がある。その中に城下町であった上野、陣屋町であった名張のほか大和街道に沿った島ヶ原、佐那具、柘植、伊賀街道に沿った平田、平松、初瀬街道に沿った阿保、伊勢路(地)の宿場町起源の中心集落がある。これらのうち街道交通の衰微によって平田、平松、伊勢路は農村化したいっぽう、鉄道交通の恩恵を受けた島ヶ原、佐那具、柘植、阿保は停滞を免れてわずかながら町場を維持し、両者の間に対照的な相異がみられる。

『宗国史』当時（寛延年間<1748~51>）の人口、戸数と昭和55年（1980）の国勢調査

* 地理学研究室（昭和58年9月30日受理）

の人口、世帯数を比較すると、伊賀全体で人口は57.3%増、世帯数(戸数)は76.7%増にすぎず、全国的にみれば増加率が低い。両者とも大字別に比較すると上野市街地や名張市街地周辺の大字に加えて関西本線や近鉄大阪線の駅付近にある大字は増加率が高い。いっぽう盆地周辺の丘陵部や山間部の大字、平地部でも山田盆地の大字などは逆に停滞し、減少率が高く、近鉄伊賀線の駅付近にある大字でも減少がみられる(第1図)。



第1図 大字別戸数(世帯数)増減率(%)
 昭和55年世帯数—『宗国史』戸数
 昭和55年世帯数

2. 行政区画の変遷

『先代旧事本紀』の国造本紀によれば伊賀国造に関して「志賀高穴穂朝（成務）御世、皇子意知別命三世孫武伊賀都別命定_二賜国造_一、難波朝御世隸_二伊勢国_一、飛鳥朝代割置如_レ故」とあり、伊賀は孝徳朝から天武朝にかけての一時期、伊勢に編入されていたことを記している。律令体制の確立とともに伊賀は『和名抄』によれば阿拝郡に柘植・川合・印代・服部・三田・新居の6郷、山田郡に木代・川原・竹原の3郷、伊賀郡に阿保・阿我・神戸・猪田・大内・長田の6郷、名張郡に周知・名張・夏見の3郷がそれぞれ含まれ、合せて4郡18郷であった。これらの郷名のうちには中世にも継承されたものがあり、荘園名とともに国人衆が勢力圏とした地縁的結合の範囲を物語る地域名の意味に用いられた。中世の郷はさらに近世にも継承され、『宗国史』によれば次のとおりである。阿拝郡に島ヶ原・新居・三田・北五ヶ・河合・長田・小田・服部・府中・一宮・壬生・柘植の12郷、山田郡に中村・阿波・友生・喰代・馬野の5郷、伊賀郡に予野・古山・伊那具・比自岐・小波多・阿保・北山・種生の8郷、名張郡に安部田・矢川・丈六・檀・薦生・大屋戸・築瀬・中村・比奈知の9郷を含んだ。『天保郷帳』によれば村数は阿拝郡69村、山田郡25村、伊賀郡50村、名張郡38村、計182村ですべて藤堂氏の津藩領である。『旧高旧領取調帳』（明治元年<1868>）によれば阿拝郡69村、山田郡26村、伊賀郡61村、名張郡41村、計197村であった。上郡・下郡・森寺（伊賀郡）は『天保郷帳』では一括されて郡村となっているが、『宗国史』ではそれぞれ独立村となっている。3村の地籍は現在も相互に錯雑し、きわめて複雑である。笠部（上野市）は伊那具、松原（名張市）は大屋戸、中知山（名張市）は長瀬のそれぞれ分村である。藩政村の直接の村務を処理したのは村方三役といわれた庄屋、年寄、五人組頭で庄屋を総括したのが大庄屋である。大庄屋の管轄した村については明らかでない点があるが、伊賀では8人ないし10人の大庄屋が配置された。

明治22年（1889）の市町村制の施行によって阿拝郡は上野市のほか島ヶ原・東柘植（柘植）・西柘植・壬生野・鞆田・玉滝・河合・丸柱・中瀬・府中・三田・新居・長田・花之木・小田の16市町村、山田郡は阿波・布引・山田・友生の4村、伊賀郡は依那古・猪田・花垣・古山・神戸・比自岐・上津・阿保・矢持・種生・美濃波多の11町村、名張郡は名張・薦原・蔵持・比奈知・国津・箕曲・錦生・滝川の8町村にまとめられた。いっぽう明治29年（1896）には阿拝・山田両郡が阿山郡、伊賀・名張両郡が名賀郡として統合された。さらに昭和28年（1953）の町村合併促進法によって伊賀は上野市・名張市・阿山町・伊賀町・青山町・島ヶ原村・大山田村の2市3町2村にまとめられ、今日に至っている。

3. 小場名と小場の復原

『伊賀国中小場名寄』（上野市立図書館蔵）には村ごとに小場名が記載されている。編者は町井貞応と記されている。柘川村（上野市）の無足人・町井平四郎につながる一族であるように思われるが、町井家系図の上から明らかにすることができない。まとめられた年代は明らかでないが、これを推定するのに次の点を考慮する必要がある。

- (1) 承応3年（1654）に開拓された美旗新田（名張市）が記載されていること。
- (2) 柏野（伊賀町）の正徳年間（1711～16）、掘さくの正徳井戸に由来する小場名が記載されていること。
- (3) 文化2年（1805）、狭田（名張市）の農家が藩の許可を得て分村移住して開拓された柏原小場（檀原）が記載されていないこと。
- (4) 明治8年（1875）、長瀬（名張市）から分離独立した中知山（名張市）がまだ長瀬

第1表 伊賀の小場『伊賀国中小場名寄』による

郡、郷、村	小	場	現在の市町村
I 阿拝郡			
A 島ヶ原郷			
1 島ヶ原村	上	a 奥村 星広出 西出 b中村 塚脇出 大屋出 西浦出 光出 c 大道 鍛冶屋出 井戸出 上大屋 峠 d中屋 坂出 上出 (中矢) 前出 東浦出 中島 的場 高殿	島ヶ原村
	下	e 町 町 町裏 堂山 平田 山菅 f 川南 付田 稲荷前 風呂ノ谷 茶屋出 稲葉屋敷	
B 新居郷			
1 西山村	a 西出 宮ノ馬場 中ノ屋敷 うへ出 井ノうえ 西光寺山 奥ノ谷 b 上出 大上出 中出 かまへ 広出 井土ノ山 中ノ山 c 下出 中ノ山 東出 西浦出 西浦谷		上野市
2 西村 (西高倉)	a 湯蓋 山出 向出 b 鳥居出 向山 荒地 c 木田原 構 稲屋 長光山 小金 d 森村 風呂ノ谷 戸塚 奥出 e 中村 北前 中嶋 f 出城 日焼 奥出 カシヤ ハシヤ		
3 東村 (東高倉)	a 紫藤 b 平野 c 南出 谷出 d 岡出 おき辻 今西 e 東出 北出 田ノ口		
4 野間村	a 北出 b 広出		
5 波多野村 (岩倉)	a 西出 b 東出		
C 三田郷			
1 三田村	a 安福寺 西出 見立 b 東出 名倉 奥出 c 谷出 中屋 奥出		阿山町
2 大谷村	a 西出 b 里出		
3 比曾河内村 (諏訪)	a 向山出 中 b 上出 大屋出 c 広出 谷屋敷 北出 d 岩出 谷山 [e 後出] f 下出 大池 谷首 川尻		
4 音羽村	a 西出 北出 中野屋敷 b 東出 谷出 中出 c 向出 中ノ谷 南出 東屋敷		
5 丸柱村	a 畑中 b 向山 c 森下 d 北出 e 南出 f 下出 g 北林		
6 横山村	a 新田 薄部平 奥ノ小野 b 真所 c 北側 中出 東出 免 (政所) (避免) d 下出 下山 馬場出 奥広 谷出		

D 北五ヶ郷

- 1 玉滝村 a 山生田 畑 西ノ久保 北出 南出 新堂出 b 界外 出村
界山 高木 坂林 東光寺 c 里出 松谷 市場 d 中之村
前出 西田 坊垣内 内保峠 新軒寺 まうと e 川上 田上
岡田 池之頭 せうふ谷 f 大南 g 城出 芝崎 高土手 高岡
稲葉 h 鈴鹿 奥出
- 2 内保村 a 北出 b 南出 下田
- 3 西湯船村 a 西ノ山 西構 前構 奥構 東構 b 前山 堀之内 c 中山
d 馬場出 上出 浦出 奥かまへ e 平泉寺 峠 丹後谷 谷出
- 4 東湯船村 a 山出 谷浦 鐘鐺ノ芝 山ノ中 b 堂前 c 城出 中島
d 宮出 湯屋之坂 落 e 大東 (f 新田)
- 5 上友田村 a 北構 島ノ城 b 向山 c 岡 尾崎 d 山口 (e 香ノ子)
子ノ子 杉木谷
- 6 中友田村 a 宮浦 b 西出 堂前 中ノかいと c 中田 d 東出 e 向出
舟 樋ノ本
- 7 下友田村 a 寺坂 b 山出 c 地藏之尾 d 井垣免 e ぬとふの芝
(野殿芝)
f 町 g 辻出 h 芝ノ川 向小谷 奥出 しゃうづか

阿
山
町

E 河合郷

- 1 石川村 a 新田 b 北出 奥屋敷 東出 北峯 森脇 c 上出 向屋敷
前屋敷 向保出 d 芝出
- 2 波敷野村 a 上出 東出 奥出 b 下出 谷屋敷 後出 東山
- 3 千貝村 a 西出 b 中出 c 東出
- 4 馬田村 a 西馬田 b 東馬田 北出 向出 窪出 北構
- 5 馬場村 a 田藤 b ソワ出 c 馬場出 池田 南出
(側出)
- 6 田中村 a 向出 山添 向山 重 b 宮構 村山 コケ山
- 7 河合村 (川合) a 上出 船渡 吹屋村 市場 b 大江 西谷 中出 稲場 杉尾
土穴 樋口谷 c 下出 界外 岩尾 山口 向出
- 8 円徳院村 (a 向出) b 鳥居崎 c 落合 前出 後出 d 東山 北出
e 新田 川原 前出 後出
- 9 西之沢村 a 西出 高夕 b 東出 c 前出

伊賀町

F 長田郷

- 1 長田村 a 梶子 安楽寺 b 寺内 c 谷村 山ノ口 d 市場 e 百田
(木根) (平尾)
- 2 朝屋村 a 北出 b 西出 c 南出 d 中村 e 小川原 f 出屋敷
- 3 木興村 a 清水 b 北出 c 池之尻 d 南出
- 4 法花村 a 西ノ村 山ノ田 広 東谷 馬場出 下出 向出 下ノ垣内
繩峯 b 中ノ村 奥出 東出 下出 構 c 外ノ村 大東 (林
向畑 向出 里屋敷) 上出 荒打 東脇
- 5 大野木村 a 北山 b 構 c 池之尻 d 南出 e 高芝 f 中村 g 北出
h 清水 i 東出 j 高出
- 6 下之庄村 a 出屋敷 b 西出 c 東出

G 小田郷

- 1 小田村 { 東 a 出屋敷 b 北谷 c 北出 d 南出
西 e 兵衛屋敷 f おきで g 北出 h 中出 i 南出 j 西出
k 山ノ下 l 南山ノ下
- 2 農人町 a 北谷 b 東出 c 妙花寺町 d 愛染院町
- 3 久米町 a 西出 b 東出
- 4 浅字田村 a 西川原 b 長岡 c 西構 d 東構 e 南出
(守田)
- 5 四十九村 a 森山 b 西出 c 東出 d 出屋敷
(並木?)

H 服部郷

- 1 服部村 a 北出 b 前出 c 南出 d 井戸ノ出 e 中小子 f 構
- 2 羽根村 (記載なし)
- 3 高畑村 { a 前出 屋敷 長者古屋敷 { b 北出 } c 川原出 只屋敷
- 4 寺田村 a 西之垣内 b 市場 c 井手口 d 川原 e 谷出 f 前坂
- 5 西明寺村 a 下川原 b 中川原 c 上川原 d 北出 e 西出 f 中家
g 四辻出 h 東出
- 6 荒木村 a 西出 南出 北構 川 b 上出 奥構 東坂構 西坂構

I 府中郷

- 1 山神村 a 北出 b 南出 上出 吹屋
- 2 土橋村 a 西出 b 中出 c 東出 芝出 城屋敷 d 清水
- 3 西条村 (小場名なし)
- 4 東条村 (小場名なし)

- 5 印代村 (小場名なし)
- 6 坂ノ下村 (小場名なし)
- J 一宮郷
- 1 外山村 (小場名なし)
- 2 佐那具村 a 出口 b 町 下出 中町 上出 c 高堰 d 南出
- 3 千歳村 a 河原出 b 野添 c 秋田 d 里 上出屋敷 西出屋敷
中出屋敷 e 界外
- 4 一宮村 a 古出屋敷 b 岡崎 c 山中 d 里 上ノ坊屋敷 e 南出
f 宮谷 中ノ坊屋敷 下ノ坊屋敷
- K 壬生郷
- 1 川西村 a 塚脇 西出 中出 東出 b 金屋 かまへ 馬場出 西かまへ
〔c 居附〕 うへの垣内 北かまへ 前かまへ
- 2 川東村 a 北出 烏居 b 深田 c 丸山〔d 南出〕 e 奥殿前
f 界外
- 3 山畑村 a どうせう出 b どうまん出 c 的場 奥出 d とぎや出
e 湯屋宿出 上野屋敷 f 谷出
- L 柘植郷
- 1 柏野村 a 西出 正徳井戸 奥ノ寺 b 前出 正学菴
- 2 新堂村 a 西出 b 中出 c 東出 こうべ谷 きのかいと 城のかまへ
- 3 御代村 a 西出 坊垣内 宮垣内〔b 中出〕 城屋敷 c 北出 坂
d 市場 西市場 東市場
- 4 橋岡村 a 西出 大藪 馬場田 b 中出 笹の谷 c 東出 今田屋敷
寺井
- 5 下柘植村 a 持堂 市場 b 上市場 前出 徳井 出屋敷 c 瓜屋
d 中出 奥構 北出 浦かいと e 南出 西ノ城
- 6 愛田村 a 日置 b 稲の首 c 笠松 岡のかいと d 下出 西構 奥構
e 久保 f 奥出 g 向出 h 堂山 i 上出 外谷 前田 馬場
- 7 中柘植村 a 宮谷 b 構 嶋 c 東出 里 d 西構 e 坂出
- 8 上村 a 北出 城屋敷 b 中出 庄司屋敷 c 南出 的場
- 9 小杉村 a 西 内山 b 堀 沢 c 里 上代 島ヶ岡 筑後屋敷 d 東

上野市

伊賀町

稲葉山 中嶋 溝川

- 10 野村 a西橋 b中橋 c東橋
- 11 上柘植村 a倉部 森ノ御前 西橋 東橋 b下町 前橋 c上町 平
d山出 林尾 荒神浦 荒打 e小林 とど橋 f岡鼻 加茂川
笠鼻

伊賀町

II 山田郡

A 中村郷

- 1 千戸村 a西谷 b山出 c西山 d北出
- 2 炊村 a下出 b片山出 c出垣内 d地王寺
(寺音寺)
- 3 畑村 a上畑 b下畑 c前出 d後出
- 4 真泥村 a西出 b中出 c東出 d小上野
- 5 甲野村 a西出 b川 c西谷 d中出 e東出 f奥甲野
- 6 平田村 { a下町 b中町 c上町 d下中島 e上中島 }
- 7 富岡村 a西出 b東出
- 8 鳳凰寺村 a西出 b中出 c上出
- 9 中村 a北出 b林出 c南出
- 10 出後村 a西出 b中出 c東出 d川原町 e後出

B 阿波郷

- 1 川北村 a西出 b中出 c東出 d南出
- 2 広瀬村 a上出 b広出 c向山 d田中 e馬場 f馬野川
g谷口出 h三谷 和庄 度々
- 3 下阿波村 a観音寺 岩つたひ 渡のまへ b西山 cどぶけ dすなこ
eさらがみ f高坂 g世古口 志いの木 hごみの木広
i須原 j川原出 k岡出 l北出 mひらしの n横野
o城 p小山田 q宮谷
- 4 富永村 a奥出 b西出 c平岩 d下河原 e東出 f上川原
g大佛
- 5 猿野村 a高尾口 b高尾 c大谷 d八升田 e奥
- 6 上阿波村 a平松 峠 橋ヶ平子 しるつけ 川原口 田町 上阿波地方
(計付) (元町)
東出 野中 平松 子ノ日 平子 蛭田
(子延)

大山田村

C 友生郷

- | | | | | | | |
|---|------|-------|-------|-------|-------|------------|
| 1 | 下友生村 | a 北出 | b 前出 | c 後出 | d 爺谷 | |
| 2 | 中友生村 | a 西出 | b 南出 | c 東出 | d 田中 | |
| 3 | 界外村 | a 角出 | b 免 | c 川原出 | d 産池 | e 界外 |
| 4 | 上友生村 | a 川原出 | b 西小路 | c 奥出 | d 立小路 | e 東正路 f 上出 |

上野市

D 喰代郷

- | | | | | | | | |
|---|-------------|------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1 | 蓮池村 | a 奥屋 | b 貝蔵 | c 大北 | d 小屋出 | e 馬ノ尾 | f 青野出 |
| 2 | 喰代村 | a 北田 | b 和田 | c 瀬古出 | d 広 | | |
| 3 | 鷹山村
(高山) | a 松田 | b 久保出 | c 北出 | d 谷川 | e 中ノ尾 | f 和田 |
| | | g 南出 | h 城 | i 的場 | 間ノ原 | | |

E 馬野郷

- | | | | | | | |
|---|------|------|------|------|------|-------------|
| 1 | 奥馬野村 | a 下出 | b 中出 | c 上出 | | |
| 2 | 中馬野村 | a 向側 | b 浦出 | | | |
| 3 | 坂下村 | a 西出 | 久保 | 番匠原 | b 中出 | 田中 坂屋敷 c 東出 |

大山田村

III 伊賀郡

A 予野郷

- | | | | | | | | |
|---|-----|--------|-------|-------|------|-------|---------------|
| 1 | 白檉村 | a 後出 | b 石田 | c 中屋出 | d 北出 | e 谷出 | f 向出 |
| | | g 西出 | | | | | |
| 2 | 治田村 | a 西出 | 中垣内出 | 久保田 | 大西出 | b 中出 | 西浦出 向出 |
| | | 半之丞 | 大屋出 | 鳥屋出 | 紺屋出 | 馬場出 | c 東出 向出 奥出 |
| | | 今屋 | 前出 | | | | |
| 3 | 予野村 | 上 e 上出 | かまへ | 中出 | 西出 | 向出 | d 前出 庄賀 東出 |
| | | c 広出 | 上下入組 | b 千部 | 上下入組 | | |
| | | 下 a 下出 | 森田 | 西谷 | 前出 | c 広出 | 西出 中出 馬場出 順礼堂 |
| | | b 千部 | | | | | |
| 4 | 大滝村 | a 奥出 | 宮下前 | 西浦出 | b 中出 | 向出 | 新屋出 c 上出 |
| | | 今屋敷 | 東屋敷 | 鳥屋敷 | | | |
| 5 | 桂村 | a 峯屋敷 | b 石屋出 | c 後出 | d 下出 | e 向屋敷 | |

上野市

B 古山郷

- 1 葛蒲池村 a 音部出 高峯 西ノ屋敷 畑中 b 西出 山出 藪出 間所
c 大門 茶屋出 紙屋出 紺屋出
- 2 界外村 a 市場出 茶屋出 奥出 上之屋敷 b 向出 伊崎屋敷 南出
- 3 鍛冶屋村 a おや出 紺や出 中屋出 瀬 b 向出 古城 角屋出 奥屋出
広畑
- 4 湯屋谷村 a 奥出 北出 谷尻 b 中出 上出 前出 c 向出 南出 東出
- 5 蔵繩手村 a 上出 馬場出 東出 後出 東ノ屋敷 上ノ屋敷 b 下出 前出
後出
- 6 東谷村 a 上出 上之屋敷 下出 坊向 b 東出 きとろ出 かいと出
中屋出 大屋出 c 出屋敷 川戸出 中切 大藪出 田向出
- 7 安場村 a 広出 広坂出 前出 西出 林出 ぬりや出 堂山出 b 安場出
中尾出 木挽出 下出 茶屋出 相木出 山中出
- 8 南村 (南古山) a 殿出 田中出 古和出 向出 山出 裏出 b 久保出 大屋出
上之屋敷 尾崎出

上野市

C 小波多郷

- 1 東田原村 a 北出 b 界外出 c 南出
- 2 新田 (美旗新田) [a 新田 b 西原 c 鏡屋]
- 3 中村 [a 西出] b 中出 c 東出
- 4 下小波多村 a 北之屋敷 b 古上山 c 中之屋敷 d 南出
- 5 上小波多村 a 向出 b 久保出 c ふろの谷 d かまい出

名張市

D 伊那具郷

- 1 上之庄村 a 道場端 b 西出 c 寺坂 d 南出 e 馬場出 f 小垣内
- 2 伊那具村 [a 笠部] b 今宿 c 出川原 d 構 e 北出 f 片山 g 南出
- 3 山出村 a 北出 b 千出 c 小山出 d 南出
- 4 猪田村 a 田中 広 殿寺 むろ b 西出 藪中 今保 願定寺 辻出
砂原 久保出 c 東出 非物屋 比奈知屋 田口屋 d 大坪出
広岡屋敷 (大東)
- 5 市部村 a 中障子 b 西かど c 堂前 d 中出 e 南出 f かまへ
- 6 森寺村 a 牛鼻 b 西出 c 東出
- 7 下郡村 a 北出 b 下村 c 鍛冶屋出 d 界外 定家

上野市

- 8 上郡村 a 北出 b せぎ c 中出 d 角屋 e 西出 f 南出
- 9 沖村 a 松原 b 市場 c 藤田 d 中出 e 前出 f 菊田屋敷
g 高田屋敷 h 中障子 i 田丸屋敷
- 10 才良村 a 下出 b 中宿 c 上村 d 吉田
- 11 枅川村 a 古屋敷 b 鍛冶屋垣内 c 北出 d 坂田
- 12 下神戸村 a 森 b 大北 c 古市場 d 丸山 e 瀬木
(領主谷?)
- 13 上神戸村 a 宮脇 b 半田 c 稻森 d 家柳 e 山屋敷 f 中出
(森小場) (上小場)
- g 押久保 h 我ヶ山 i 出屋敷 j 以玉出 k 徳尾谷
(庄田) (上庄田-名張市)
- 14 上林村 a 北出 b 原 c 里出

上野市

E 比自岐郷

- 1 岡波村 a 西山 b 西出 c 中出 d 東出
- 2 森村 $\left\{ \begin{array}{l} \text{森} \\ \text{界外} \end{array} \right.$ a 西出 b 下り合 c 馬場出 d 向界外 e 前川原 f 田中
- 3 摺見村 a 上寺 b 屋敷 c 井戸尻 d 惣正庵 e 南

F 阿保郷

- 1 古郡村 a 北出 b 南出 c 東城
- 2 比土村 a 市場 b 里 c 上出 d 高瀬
- 3 羽根村 a 田中 b 下出 c 中出 d 東出
- 4 阿保村 a 川原出 b 下町 c 上町 d 森
- 5 別府村 a 北出 b 西出 c 東出
- 6 寺脇村 a 西出 b 東出
- 7 柏尾村 a 下屋敷 b 長膳寺 c 西ノ屋敷 d 盤若寺
- 8 岡田村 a 北出 b 前出

青山町

G 北山郷

- 1 下川原村 a 西山 b 西出 c 向出
- 2 伊勢地村 a 欠田 b 田中 c 西境 d 砂原 町 e 谷 f 赤兀 g 松地
(伊勢路)
- 3 奥鹿野村 a 下出 b 中出 c 上出
- 4 北山村 a 西出 b 東出 c 日焼 上出 d 向出 界外 川原出 久保出
- 5 勝地村 a 西出 b 中出 c 丸地 d 東出 e 川原出 f 向出
(折戸)

- 6 妙楽寺村 a 上出 b 西出 c 中出 d 東出 e 松田
 (妙楽地)
 7 滝村 a 西出 b 長弁 c 中出 d 房谷 e 上山 f 東出
 (長久保) (坊谷)

H 種生郷

- 1 川上村 a 下出 b 中出 c 上出
 2 老川村 a 上出 b 下村 c 下出
 (中出)
 3 福川村 a 西出 b 東出
 4 種生村 a 山館 b 小河内 c 寺脇 d 東脇 e 矢地 f 国見
 (山立) (小川内)
 5 腰山村 a 下出 b 辻出 c 中出 d 上出
 (浦出)
 6 諸木村 a 下出 b 殿出 c 庄原 d 上出 e 寺谷
 (上出)
 7 霧生村 a 沢 家ナシ b 高山 家ナシ c 平尾 d 羽根垣内
 (広刈)
 e 下出 f 中出 g 中西 h 上出
 (中央)
 8 高尾村 a 出合 b 床並 c 下原池 d 中原池 e 上原池 [f 中出]
 g 島をお h 酒屋 i 鈴股 j 奥出 [k 上出] l 津本
 m 古田

青山町

IV 名張郡

A 安部田郷

- 1 安部田村 a 坂ノ下 b 谷出 c 小屋出 d 中ノ出 e 向出 f 鹿高
 2 井手村 a 北屋敷 b 上出 c 下出
 3 結馬村 a 西出 b 中出 c 東出 丹後出
 4 黒田村 a 上出 b 中出 c 下出 d 山門

B 矢川郷

- 1 矢川村 a 西出 b 垣内出 c 芝出
 2 一之井村 a 下垣内 b 上垣内 c 堂まへ
 3 上三谷村 a 谷屋敷 b 垣内出
 4 竜ノ口村 a 日表出 b 日裏出
 5 長坂村 { 長坂 a 向出 b 上出 c 出屋敷
 滝 d 出屋敷 e 寺ノ上

名張市

C 丈六郷

- 1 丈六村 a 上出 b 下出 c 南出
 2 長屋村 a 上出 b 下出 c 前出
 (相楽)

D 檀ノ郷

- 1 檀村 a 前出 b 北出 c 後出
 2 柏原村 a 上出 b 中出 c 下出 [d 檀原]
 (柏原小場)
 3 星川村 a 芝出 b 下出

E 薦生郷

- 1 葛尾村 a 上出 b 西浦出 c 中屋出 d 下出
 2 家野村 a 下出 b 中出 c 上出
 3 鷓山村 a 中鷓山出
 4 薦生村 a 下出 b 市場 c 大森出 d 上出
 5 下三谷村 a 広畑 b 中嶋 c 中けと d 上けと e 奥中 f 中屋
 6 八幡村 a 辻堂屋敷 b 今屋出 c 田中出 d 田島出 e 上出
 7 西田原村 a 田屋出 b 大西出 下出 滝出 c 中之屋敷 d 界外出
 (上出)
 e 木之免出
 (向屋敷?)

F 大屋戸郷

- 1 短野村 a 下出 戊亥出 平出 尾ノ浦出 b 上出 中上出 角屋出
 中垣内出 林垣内出 c 大門出
 2 夏秋村 a 下出 b 上出
 3 大屋戸村 { 大屋戸 a 上出 b 谷出 c 下出
 松原

G 築瀬郷

- 1 築瀬村 a 松崎町 b 榊町 c 世古出 d 新町 e 鍛冶町
 f 下横町 g 上横町
 2 北出村 a 北出
 3 南出村 a 南出
 4 平尾村 a 平尾
 5 蔵持村 a 里出 b 草田出 c 芝出 d 原出 e 久保田出

	f はにやな出
6 狭田村	a 下出 b 向出 c 上出
H 中村郷	
1 中村	a 小屋出 b 浦屋出 c 奥屋出 d 南出
2 瀬古口村	a 飛田
3 青蓮寺村	a 川合 b 峯之山 c 南谷 d 上出 e 鞍溯 東出 下出
I 比奈知郷	
1 夏見村	a 下川原 b 坊垣 c 下出 d 中川原 e 上出
2 下比奈知村	a 西出 b 東出 c 加まへ出 (兼前)
3 上比奈知村	a 和田 b 広出 c 上出 (西出)
4 奈垣村	a 後山 b 角屋 c 下口 d 板屋 e 塚根 f 竹垣内
5 神屋村	a 羽根 b 下出 c 奥出 d 吉原
6 滝ヶ原村	a 柵 b 滝出 { c 下出 } 下小場 d 辻出 { e 中出 } f 中嶋 g 大久保 h 向出 i 南出 j 尼久保 中小場 { k 上出 } l 水野 上小場
7 長瀬村	a 中知山 b 中並 c 羽根 d 下出 e 中出 f 上出
8 布生村	a 西久保 b 地藏院 c 上出 d 下出 e 上長瀬 f 大戸屋

名張市

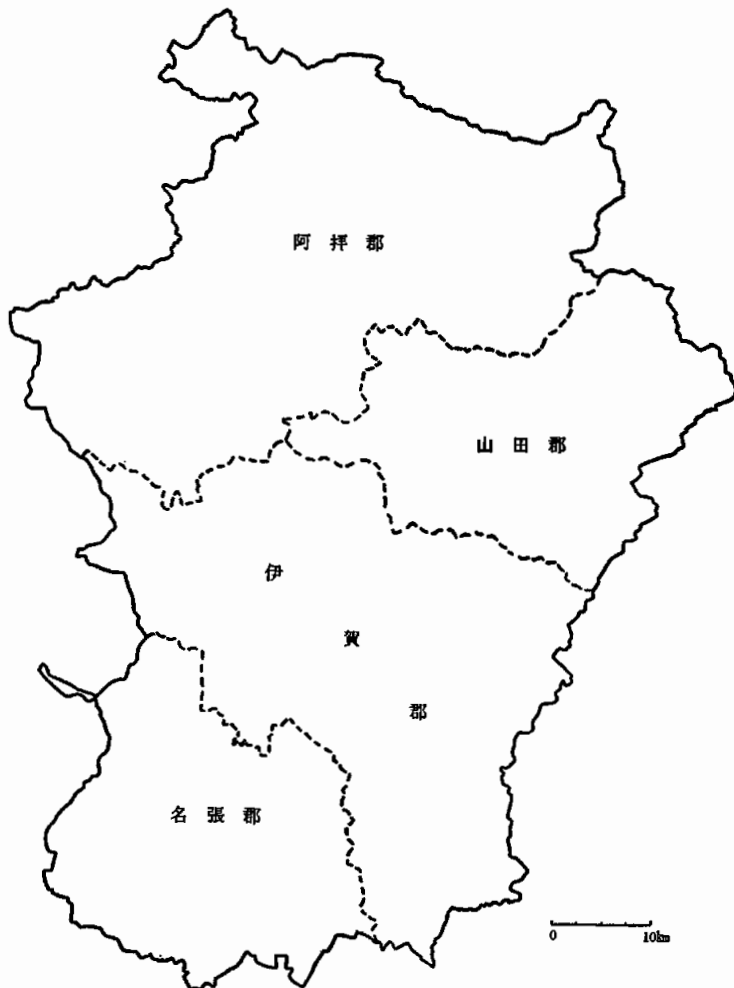
- 注
- 1 小場の記載は『伊賀国中小場名寄』の順序を、整理したものである
 - 2 ゴシック字体の小場は小字と一致することを示す
 - 3 □はその場所の推定ができなかったもの
 - 4 ()は『伊賀国中小場名寄』に記載もれのもの、および以後にできた集落
 - 5 ()は現在の呼称
 - 6 郷は『宗国史』による
 - 7 第2-2～5図の記号はこの表の記号に一致

の小場として記載されていること。

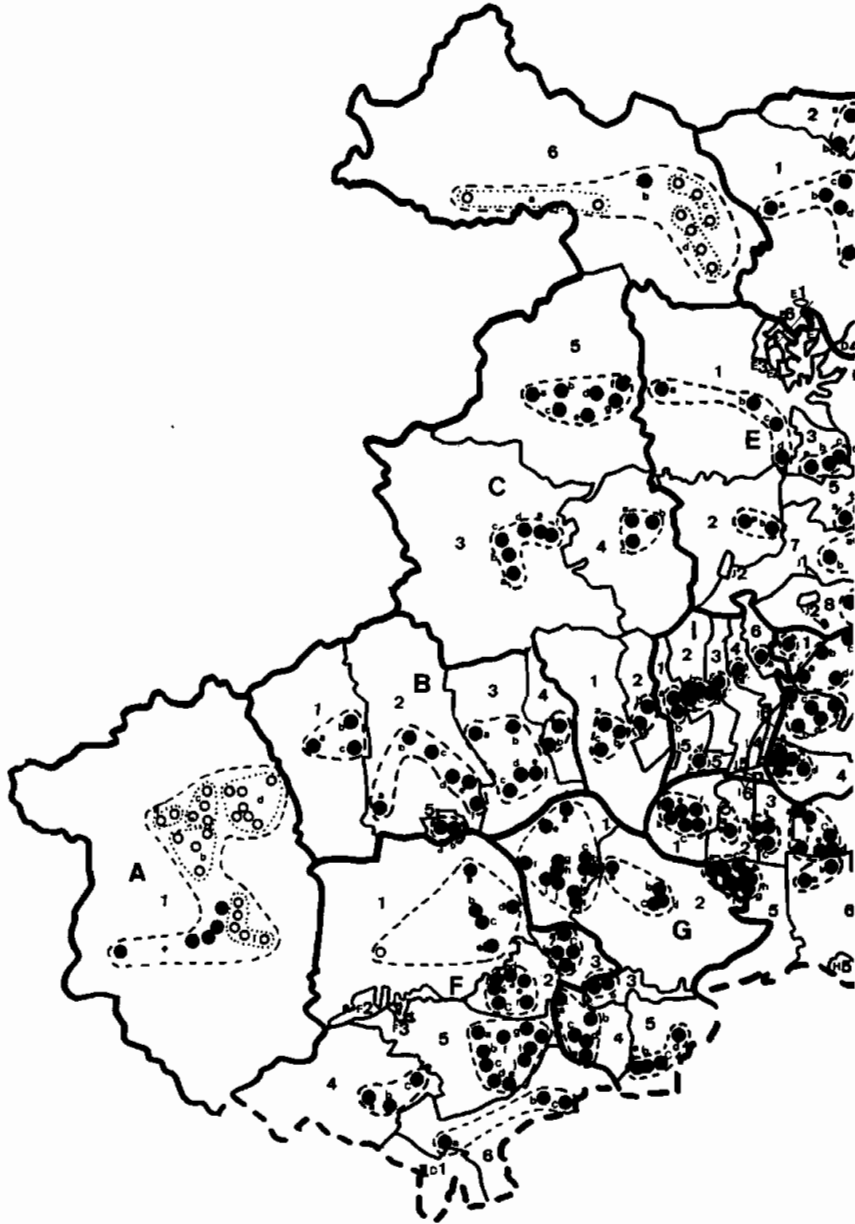
などによって18世紀後期にまとめられたと推定される(第1表, 第2図)。小場名の記載には郡によって精粗がみられ, 阿拝郡がもっともくわしく, 名張郡はかなり簡略化されている。東出, 西出, 南出, 北出など相対的位置関係を物語る小場が413あって全体の32.5%を占めるほか開拓を物語る界外, 川原, 新田, 出屋敷が48, 中世城館と結びつく構が40, 町, 市場が38ある。とくに阿拝郡に構が多く, 名張郡に上出, 下出の系列が多い点が注目される(第2表)。

今日, 小場名の残存程度, 村民による小場の認識程度には地方差がある。中には現地においても明らかにすることができず推定せざるを得ないものもある。小場の復原には次の方法をとった。

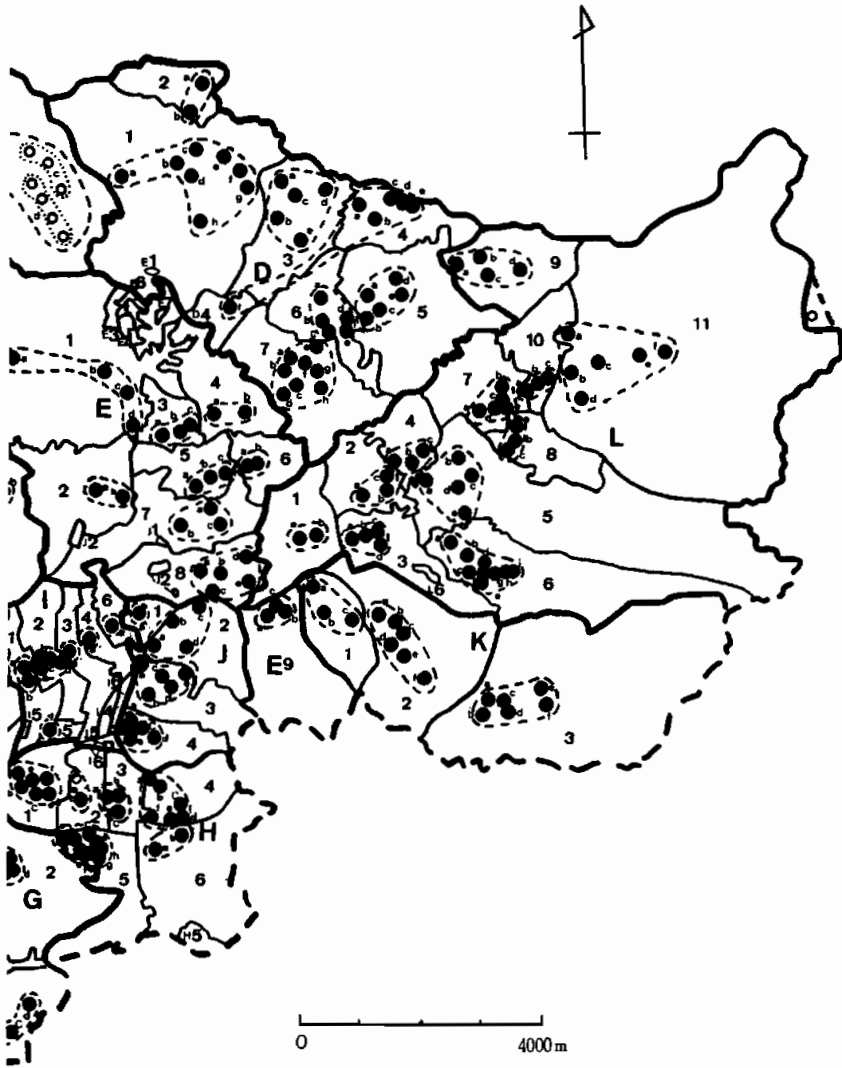
- (1)小字名と一致していれば明らかである。
- (2)東出, 西出, 南出, 北出など相対的位置関係から推定する。
- (3)小場名と同じ姓がその小場に存在することによって推定する。
- (4)橋の名その他から推定する。



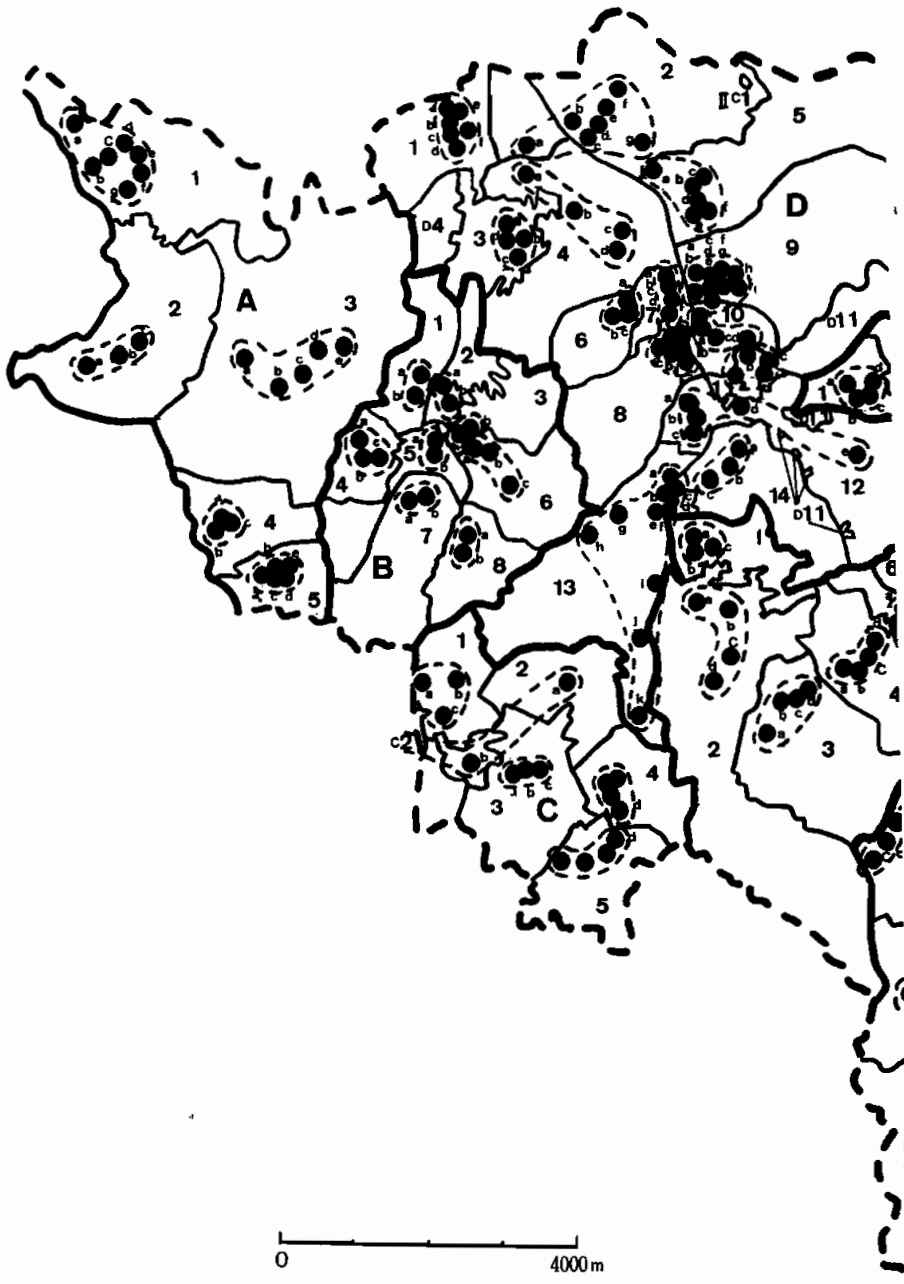
第2-1図 伊 賀 国



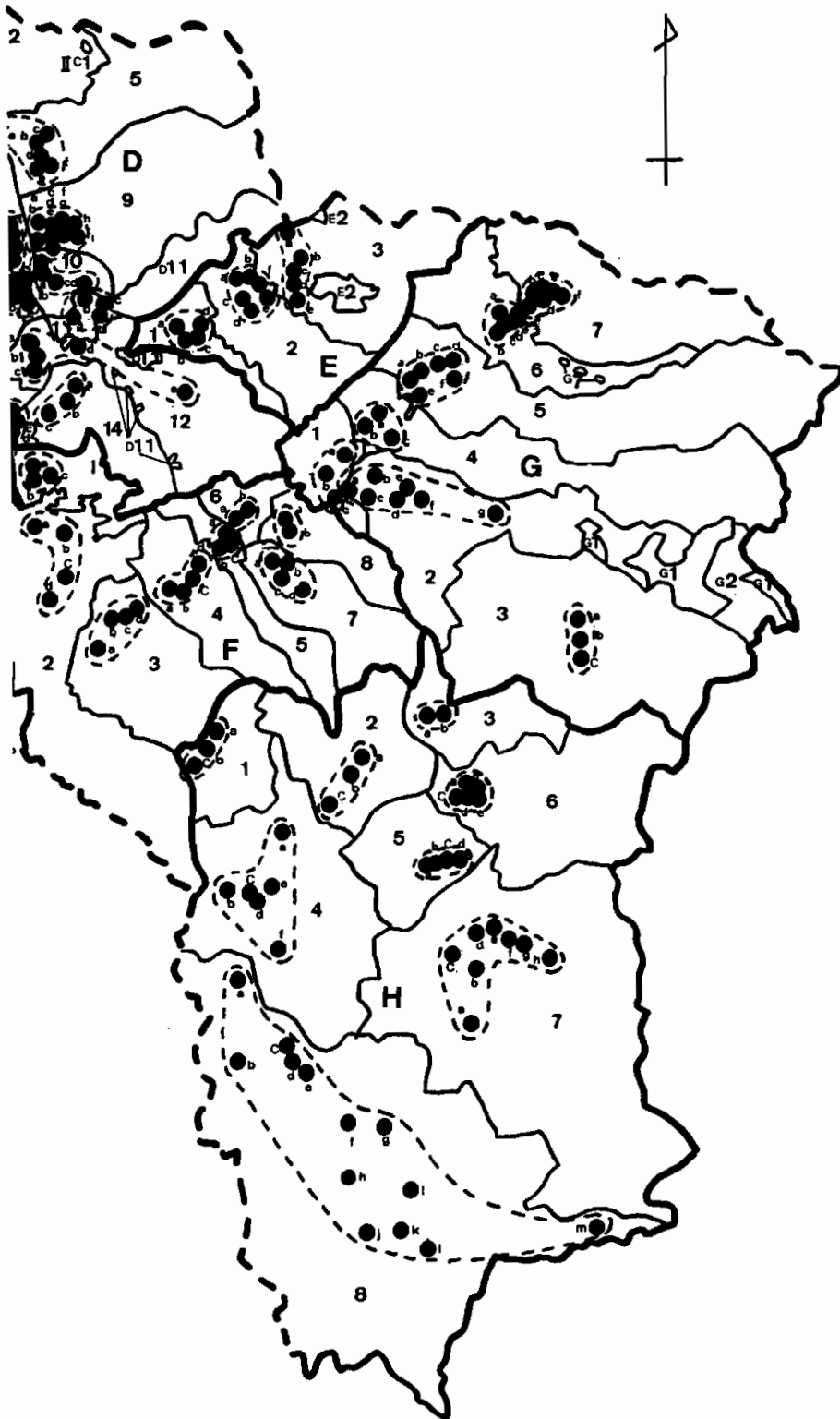
第2-2図 阿拜郡の小場 (この図の記号は第1表の記号に一致)

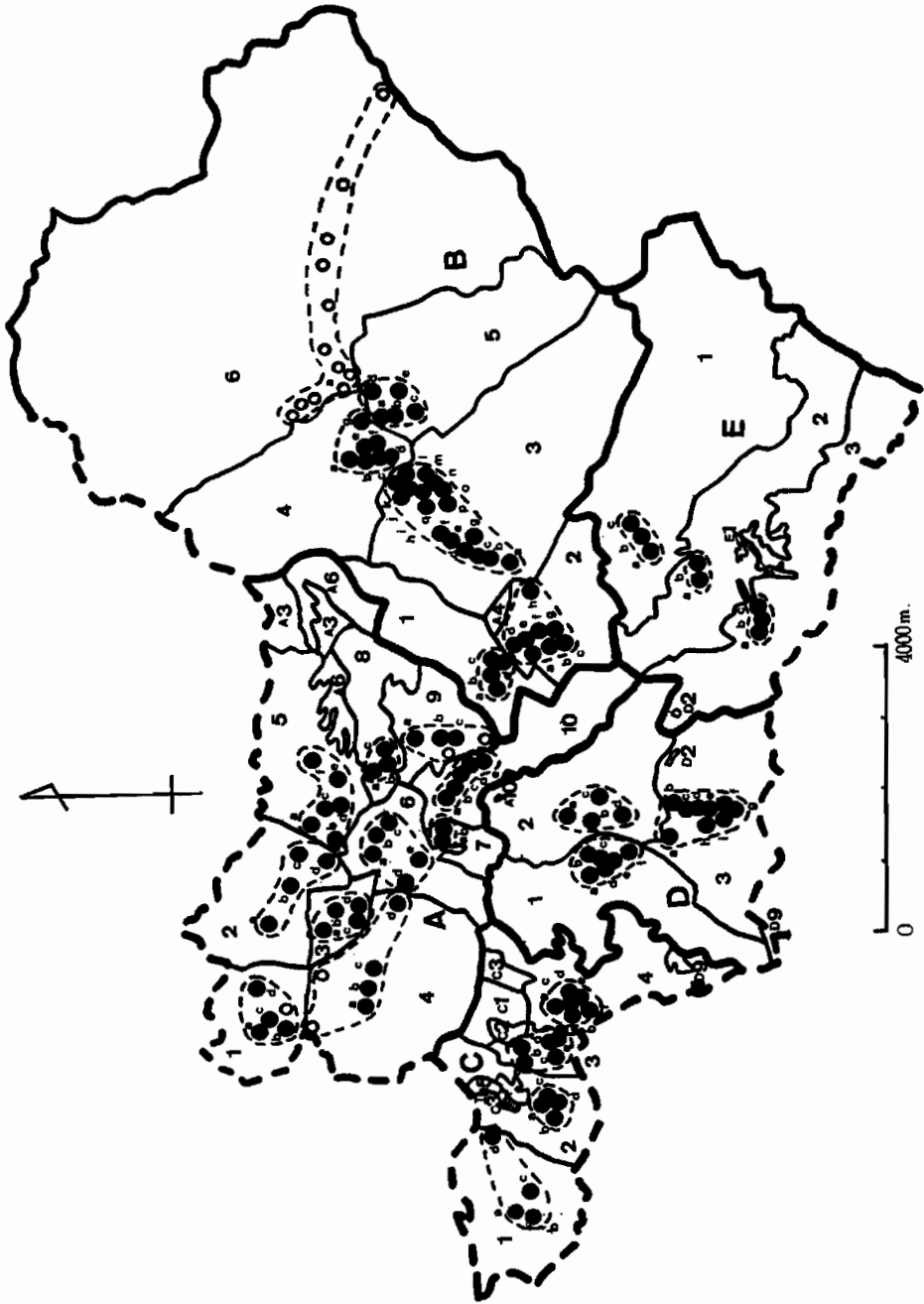


小場名が小字名と一致するものは22.0%を占める。とくに相対的位置関係を示す小場名のうち小字名と一致するものが16.5%あってこの場合少なくとも小場の成立が小字名に先行することを物語っている。小場名と姓の一致については後述の真泥（大山田村）の場合は顕著であるが、その他西村（上野市西高倉）における湯蓋小場の山出小場では山出姓4戸、向出小場では向出姓1戸が所在することによってまた布生（名張市）の西久保小場では西久保姓1戸が所在することによってそれぞれ小場名を推定することができる。小場名が橋の名に残っていることによって小場名が推定できる例として勝地（青山町）の丸地橋から丸地小場、上柘植（伊賀町）の平橋から上町小場の平小場が明らかになる。明治3年（1870）の水害後、同じく6年から10年（1873～77）にかけて集落移転した小田、浅宇田、木興（上野市）の各小場は移転前の位置において復原することができる。

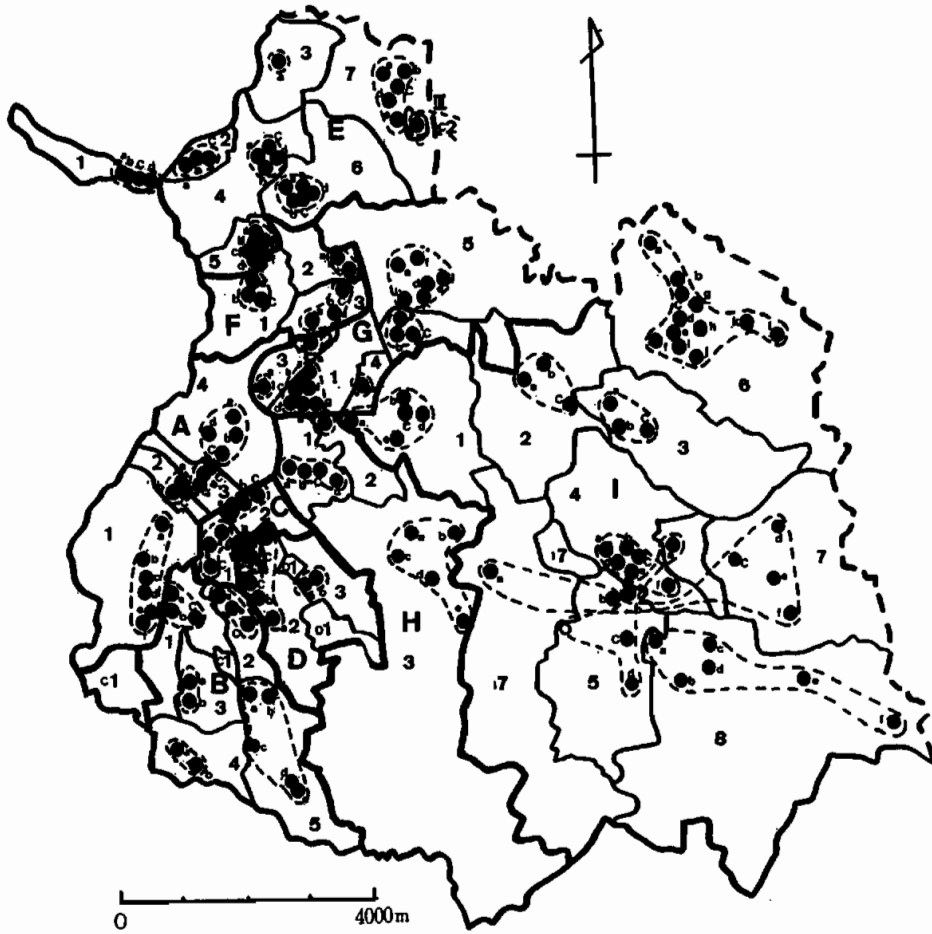


第2-3図 伊賀郡の小場 (この図の記号は第1表の記号に一致)





第2-4 図 山田郡の小場 (この図の記号は第1表の記号に一致)



第2-5図 名張郡の小場（この図の記号は第1表の記号に一致）

第2表 小場名の分類

	東	西	南	北	上	中	下	前	後	向	奥	計	構	界	川	新	出	計	町	市	計	合	小一も
	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出			外	原	田	屋		場		計	計	致の
阿拝郡	24	24	20	23	12	14	10	9	4	10	10	160	35	4	9	4	6	23	10	9	19	587	139(23.7%)
山田郡	9	9	3	5	4	7	2	2	3	0	2	46	0	1	7	0	0	8	5	0	5	150	31(20.7%)
伊賀郡	17	21	10	12	15	20	13	8	4	13	5	138	4	4	5	1	2	12	3	4	7	367	66(18.0%)
名張郡	3	4	4	2	21	7	20	2	1	4	1	69	1	1	2	0	2	5	6	1	7	168	44(26.2%)
計	53	58	37	42	52	48	45	21	12	27	18	413	40	10	23	5	10	48	24	14	38	1,272	280(22.0%)

第3表 小場と現在の組

郡(市町村)	郷	村(大字)	1980年国勢調査世帯数	宗国史(1748~51)戸数	増減率(%) $\frac{a-b}{b}$	上位小場数	1小場(上位)当りの戸数(宗国史) $\frac{b}{c}$	下位小場数	1小場(下位)当りの戸数(宗国史) $\frac{b}{d}$	現在の組数	1小場(上位)当りの現在の組数 $\frac{e}{c}$	1小場(下位)当りの現在の組数 $\frac{e}{d}$	現在の組の1組当りの世帯数 $\frac{a}{e}$	備考	
			a	b	b	c	c	d	e	c	d	e			
阿 拜 郡 (阿山郡)	島ヶ原村	島ヶ原	島ヶ原	737	497	48.3	6	83	27	18	68	11.3	2.5	10.8	
			計	737	497	48.3	6	83	27	18	68	11.3	2.5	10.8	
	上野市	新居	西山	133	201	-33.8	3	67	16	13	11	3.7	0.8	12.1	
			西(西高倉)	206	206	0.0	6	34	17	12	7	1.2	0.4	29.4	
			東(東高倉)	307	204	50.5	5	41	7	29	15	3.0	2.1	20.5	
			野間	102	66	54.5	2	33			8	4.0		12.8	
			波多野(岩倉)	298	137	117.5	2	69			11	5.5		27.1	
	計	1,046	814	28.5	18	45	40	15	52	2.9	0.8	20.1			
	三田		三田	323	192	68.2	3	64	6	32	25	8.3	4.2	12.9	()内は昭和58年世帯数
			大谷	59	61	-3.3	2	31			5	2.5		11.8	
			比曾河内(諏訪)	336	181	85.6(29.3)	6	30	9	20	23	3.8	2.6	14.6	
			音羽	53	65	-18.5	3	22	7	9	6	2.0	0.9	8.8	
			丸柱	182	80	127.5			7	11	18		2.6	10.1	
			楓山	212	143	48.3	4	36	10	14	18	4.5	1.8	11.8	
	計	1,165	722	61.4	18	36	39	17	95	4.3	2.3	12.3			
阿山町	北五ヶ	玉滝	263	289	-9.0	8		28	10	28	3.5	1.0	9.4		
		内保	37	44	-15.9			2	22	5		2.5	7.4		
		西湯船	99	114	-13.2			12	10	10		0.8	9.9		
		東湯船	92	78	17.9			9	9	9		1.0	10.2		
		上友田	123	113	8.8			6	19	11		1.8	11.2		
		中友田	63	56	12.5			7	8	8		1.1	7.9		

阿 拜 郡 (阿山郡)	阿山町	下友田 計	113 790	86 780	31.4 1.3	8	36	10 74	9 11	13 84	3.5	1.3 1.1	8.7 9.4			
		河合	河合 (川合)	118	159	-25.8	3	53	13	12	14	4.7	1.1	8.4	入会山の 飛地錯雑	
			馬田	66	65	1.5	2	33	5	13	6	3.0	1.2	11.0		
			千貝	39	34	14.7			3	11	5		1.7	7.8		
			田中	47	50	-6.0	2	25	5	10	4	2.0	0.8	11.8		
			石川	120	90	33.3	4	23	9	10	12	3.0	1.3	10.0		
			円徳院	121	85	42.4			8	11	10		1.3	12.1		
			波敷野	63	74	-14.9	2	37	5	15	6	3.0	1.2	10.5		一宮郷の 飛地散在
			馬場	94	60	56.7			4	15	8		2.0	11.8		
		伊賀町	西之沢 計	81 749	64 681	26.6 10.0			3 55	21 12	6 71		2.0 1.3	13.5 10.5		
	長田		長田	183	280	-34.6	5	56			25	5.0		7.3	明治初年 避水移動	
		朝屋	56	88	-36.4			6	15	4		0.7	14.0			
		木興	177	97	82.5	4	24			11	2.8		16.1			
		大野木	147	163	-9.8			10	16	8		0.8	18.4			
		法花	89	119	-25.2	3	40	16	7	4	1.3	0.3	22.3	上之庄の 飛地あり		
下之庄		99	74	33.8	3	25			7	2.3		14.1				
計		751	821	-8.5	15	38	32	12	59	3.1	0.5	12.7				
上野市	小田	農人	251	221	13.6	4	55			30	7.5		8.4	明治初年 避水移動		
		小田	534	280	90.7	12	23			16	1.3		33.4			
		久米	155	34	355.9			2	17	15		7.5	10.3			
		浅宇田 (守田)	678	129	425.6	5	26			66	13.2		10.3			
		四十九 計	435 2,053	79 743	450.6 176.3			4 6	20 19	51 178		12.8 11.0	8.5 11.5			
服部	服部 羽根	服部	262	124	111.3			6	21	15		2.5	17.5			
		羽根	42	59	-28.8	1	59			4	4.0		10.5			

野崎：伊賀における小地域集団としての「小場」

上野市		高畑	45	75	-40.0	3	25			4	1.3		11.3	} 十二郷用水支配	
		寺田	172	84	104.8			6	14	18		3.0	9.6		
		荒木	114	136	-16.2	2	68	6	23	17	8.5	2.8	6.7		
		西明寺	217	111	95.5			8	14	17		2.1	12.1		
		計	852	589	44.7	6	45	26	18	75	4.2	2.6	11.4		
	府 中	西条	64	54	18.5	1	54			8	8.0		8.0	} 耕地の飛地錯雑	
		土橋	106	79	34.2			5	16	9	2.3	1.8	11.8		
		山神	48	62	-22.6	2	31	3	21	5	2.5	1.7	9.6		
		東条	30	39	-23.1	1	39			4	4.0		7.5		
		印代	42	31	35.5	1	31			5	5.0		8.4		
		坂ノ下	19	24	-20.8	1	24			3	3.0		6.3		
	計	309	289	6.9	6	35	8	18	34	4.2	1.8	9.1			
一 宮	外山	71	40	77.5	1	40			8	8.0		8.9			
	佐那具	268	134	100.0	4	34	6	22	28	7.0	4.7	9.6			
	千歳	115	111	3.6			7	16	14		2.0	8.2			
	一宮	56	81	-30.9			7	12	5		0.7	11.2			
	計	510	366	39.3	5	35	20	16	55	7.2	2.4	9.3			
壬 生	川西	110	90	22.2	3	30	9	10	10	3.3	1.1	11.0			
	川東	238	138	72.5			6	23	13		2.2	18.3			
	山畑	169	144	17.4			6	24	15		2.5	11.3			
	計	517	372	39.0	3	30	21	18	38	3.3	1.8	13.6			
	伊賀町	柏野	90	83	8.4	2	42	3	28	8	4.0	2.7	11.3		
柘 植	新堂	152	80	90.0	3	27	5	16	11	3.7	2.2	13.8			
	御代	157	87	80.5			6	15	10		1.7	15.7			
	楯岡	64	47	36.2			5	9	6		1.2	10.7			
	下柘植	254	204	24.5	5	41	9	23	19	3.8	2.1	13.4			
	愛田	113	104	8.7			12	9	11		0.9	10.3			
	中柘植	105	114	-7.9	5	23			10	2.0		10.5			

山田郡(阿山郡)	伊賀町		上村	45	46	-2.2			3	15	4		1.3	11.3	(中心集落を除く)	
			小杉	90	107	-15.9	4	27	8	13	10	2.5	1.3	9.0		
			野村	78	56	39.3			3	19	7		2.3	11.1		
			上柘植	834	161	418.0	6	27	11	15	81	13.5	7.4	10.3		
			計	1,982	1,089	82.0	25	30	65	15	177	5.6	2.6	11.2		
	合計	11,461	7,763	47.6	144	37	413	14	986	3.4	1.6	11.6				
	大山田村	中村	千戸	53	73	-27.4			4	18	7		1.8	7.6		入会山の飛地錯雑
			真泥	136	216	-37.0	4	54			22	5.5		6.2		
			畑	59	76	-22.4			4	19	8		2.0	7.4		
			平田	142	176	-19.3	5	35			20	4.0		7.1		
			炊	80	105	-23.8	4	26			11	2.8		7.3		
			甲野	89	120	-25.8			6	20	10		1.7	8.9		
			富岡	21	25	-16.0			2	13	3		1.5	7.0		
			鳳凰寺	32	49	-32.7			3	16	4		1.3	8.0		
			中村	67	94	-28.7	3	31			8	2.7		8.4		
出後			80	117	-31.6			6	20	9		1.5	8.9			
計	759	1,051	-27.8	16	37	25	18	102	3.8	1.6	7.4					
阿波	川北	28	42	-33.3			4	11	3		0.8	9.3				
	広瀬	51	85	-40.0			10	9	5		0.5	10.2				
	下阿波	109	217	-49.8			18	12	16		0.9	6.8				
	富永	65	89	-27.0			7	13	7		1.0	9.3				
	猿野	93	97	-4.1			5	19	10		2.0	9.3				
	上阿波	181	271	-33.2	1	271	12	23	19	19.0	1.6	9.5				
	計	527	801	-34.2	1	271	56	14	60	19.0	1.1	8.8				
上野市	友生	下友生	103	92	12.0			4	23	9		2.3	11.4	入会山の飛地錯雑		
		中友生	41	59	-30.5			4	15	4		1.0	10.3			
		界外	47	18	161.1			5	4	5		1.0	9.4			
		上友生	55	72	-23.6			6	12	6		1.0	9.2			
		計	246	241	2.1			19	13	24		1.3	10.3			

伊賀郡(名賀郡)	上野市	喰代	蓮池	54	93	-41.9			6	16	8		1.3	6.8	
			喰代	48	99	-51.5			4	25	8		2.0	6.0	
			鷹山	40	114	-64.9			10	11	7		0.7	5.7	
			(高山)計	142	306	-53.6			20	15	23		1.2	6.2	
	大山田村	馬野	奥馬野	60	74	-18.9			3	25	7		2.3	8.6	} 奥馬野の 飛地錯雑 ()内 は上阿波 を除く
			中馬野	25	34	-26.5			2	17	4		2.0	6.3	
			坂下	29	48	-39.6			5	10	4		0.8	7.3	
			計	114	156	-26.9			10	16	15		1.5	7.6	
		合計	1,788	2,555	-30.0	17	51 (37)	130	15	224	4.7 (3.8)	1.3	8.0		
	上野市	予野	予野	173	192	-9.9	5	38	14	14	21	4.2	1.5	8.2	予野の分 村
			治田	115	123	-6.5	3	41	14	9	19	6.3	1.4	6.1	
			白檜	132	60	120.0			7	9	8		1.1	16.5	
			大滝	45	50	-10.0			7	7	7		1.0	6.4	
			桂計	35	41	-14.6			5	8	5		1.0	7.0	
			計	500	466	7.3	8	39	47	10	60	5.0	1.3	8.3	
古山		葛蒲池	66	99	-33.3	3	33	9	11	11	3.7	1.2	6.0		
		界外	29	18	61.1			5	4	3		0.6	9.7		
		鍛冶屋	29	45	-35.6			7	6	5		0.7	5.8		
		湯屋谷	26	41	-36.6			6	7	5		0.8	5.2		
	蔵縄手	46	30	53.3			7	4	6		0.9	7.7			
	東谷	43	50	-14.0			11	5	6		0.5	7.2			
南(南古山)計	安場	66	85	-22.4	2	43	12	7	6	3.0	0.5	11.0			
	南(南古山)計	35	54	-35.2	2	27	8	7	5	2.5	0.6	7.0			
	計	340	422	-19.4	7	34	65	6	47	3.1	0.7	7.2			
名張市	小波多	東田原	249	95	162.1	3	32			16	5.3	15.6	『宗国史』 では予野 郷		
		新田 (美旗新田)	292	154	89.6	3	51			25	8.3	11.7			
		中村	137	97	41.2	3	32			13	4.3	10.5			

伊賀郡(名賀郡)	上野市	小波多 上小波多 計	49	57	-14.0	9	38	4	14	6	6.0	1.5	8.2	}「天保郷 帳」では 小波多村				
			54	60	-10.0			4	15	6		1.5	9.0					
			781	463	68.7			8	15	66		1.5	11.8					
		伊那具	上之庄	102	126	-19.0	1	95	6	21	11 (6)	6.0	1.8	9.3	}「宗国史」 の笠部を 含む			
			伊那具	158	206	-23.3			5	22	12		1.2	13.2				
			山出	81	80	1.3			4	20	10		2.5	8.1				
			猪田	235	295	-20.3			4	74	14		21	19		4.8	1.4	12.4
			市部	114	123	-7.3			6	21	11		1.8	10.4				
			森寺	26	33	-21.2			3	11	3		1.0	8.7		}「天保郷 帳」では 郡村		
			下郡	135	58	132.8			5	12	14		2.8	9.6				
	上郡		49	67	-26.9	6			11	7	1.2		7.0					
	冲		108	126	-14.3	9			14	10	1.1		10.8	}「三国地誌」 では比自岐 郷				
	才良		71	92	-22.8	4			23	6	1.5		11.8					
	栢川		57	41	39.0	4			10	7	1.8		8.1					
	比自岐		上林	61	78	-21.8			3	26			7			2.3		8.7
下神戸		82	127	-35.4	5	25		10		2.0		8.2						
上神戸		191	163	17.2			11	15	19		1.7	10.1						
計		1,470	1,615	-9.0	13	54	77	18	146	3.7	1.7	10.1	徳尾谷(上 庄田)のみ 名張市					
岡波		35	55	-36.4			4	14	4		1.0	8.8						
阿保	森	94	104	-9.6			6	17	10		1.7	9.4	}「宗国史」 の界外を 含む					
	摺見	50	93	-46.2			5	19	7		1.4	7.1						
	計	179	252	-29.0			15	17	21		1.4	8.5						
青山町	阿保	古郡	47	69	-31.9	3	23			7	2.3		6.7	}「三国地 誌」では 比土郷				
		比土	159	166	-4.2	4	42			17	4.3		9.4					
		羽根	87	98	-11.2	4	25			11	2.8		7.9					
		阿保	593	157	277.7	4	39			60	15.0		9.9					
		別府	54	42	28.6			3	14	4		1.3	13.5					
寺脇	25	33	-24.2			2	17	3		1.5	8.3							

原簿：伊賀における小地域集団としての「小郷」

伊 賀 郡(名賀郡)	青山町	柏尾岡田計	35 26 1,026	73 43 681	-52.1 -39.5 50.7	15	33	4 2 11	18 22 17	4 3 109	6.3	1.0 1.5 1.3	8.8 8.7 9.4			
		北山	下川原	44	33	33.3			3	11	5			1.7	8.8	} 入会山の 飛地錯雑
			伊勢地 (伊勢路)	92	84	9.5			7	12	11			1.6	8.4	
			奥鹿野	29	68	-57.4			3	23	5			1.7	5.8	
			北山地	85	88	-3.4	3	29	6	15	8	2.7		1.3	10.6	
			勝地	61	94	-35.1			6	16	6			1.0	10.2	
			妙楽寺 (妙楽地)	39	62	-37.1			5	12	5			1.0	7.8	
			滝	41	62	-33.9			6	10	4			0.7	10.3	
			計	391	491	-20.4	3	29	36	14	44	2.7		1.2	8.9	
		種生	川上	34	57	-40.4			3	19	3			1.0	11.3	(中心集落 を除く)
			老福	73	93	-21.5	3	31			11	3.7			6.6	
			諸木	17	30	-43.3			2	15	2			1.0	8.5	
			腰山	31	53	-41.5			5	11	3			0.6	10.3	
			霧生	42	56	-25.0			4	14	4			1.0	10.5	
			種生	144	169	-14.8	6	28			12	2.0			12.0	
高尾	107		128	-16.4			6	21	11			1.8	9.7			
計	161		208	-22.6			13	16	9			0.7	17.9			
合計	609		794	-23.3	9	29	33	16	55	2.6		1.0	11.1			
合計	5,296		5,184	2.2	64	38	292	13	548	3.9		1.2	9.7			
名張市	安部田	安部田	218	175	24.6	6	29			23	3.8		9.5			
		井手	31	36	-13.9			3	12	3			1.0		10.3	
		結馬	34	36	-5.6			4	9	5			1.3		6.8	
		黒田	115	92	25.0			4	23	11			2.8		10.5	
		計	398	339	17.4	6	29	11	15	42	3.8		1.7		9.5	
		矢川 一之井	100 167	71 58	40.8 187.9	3	24			9 10	3.0		11.1 16.7			

名張郡(名賀郡)

名張市

矢川	上三谷	15	19	-21.1			2	10	2		1.0	7.5	
	竜ノ口	21	35	-40.0			2	18	3		1.5	7.0	
	長坂	56	43	30.2			5	9	6		1.2	9.3	
	計	359	226	58.8	3	24	12	13	30	3.0	1.8	12.0	
丈六	丈六	234	93	151.6	3	31			17	5.7		13.8	
	長六屋	68	53	28.3			3	18	6		2.0	11.3	
	(相楽)計	302	146	106.8	3	31	3	18	23	5.7	2.0	13.1	
檀	檀	54	41	31.7			3	14	4		1.3	13.5	
	柏原	160	74	116.2	3	25			14	4.7		11.4	
	星川	58	40	45.0			2	20	5		2.5	11.6	
	計	272	155	75.5	3	25	5	16	23	4.7	1.8	11.8	
鷹生	葛尾	16	15	6.7			4	4	2		0.5	8.0	
	家野	36	41	-12.2			3	14	3		1.0	12.0	
	鷺山	23	28	-17.9	1	28			4	4.0		5.8	
	薦生	59	60	-1.7			4	15	6		1.5	9.8	
	下三谷	18	22	-18.2			6	4	2		0.3	9.0	
	八幡	51	43	18.6			5	9	4		0.8	12.8	
	西田原計	96	83	15.7			6	14	11		1.8	8.7	
計	299	292	2.4	1	28	28	9	32	4.0	1.0	9.3		
大屋戸	短野	31	35	-11.4			3	12	6		2.0	5.2	
	夏秋	14	24	-41.7			2	12	3		1.5	4.7	
	大屋戸	83	60	38.3			3	20	7		2.3	11.9	【宗国史】 の松原を 含む
	計	128	119	7.6			8	15	16		2.0	8.0	
築瀬	築瀬	1,979	540	266.5	7	77			212	30.3		9.3	
	(名張)出	159	42	278.6	1	42			16	16.0		9.9	【天保郷 帳】では 築瀬村
	北出	127	27	370.4	1	27			12	12.0		10.6	
	南平尾	532	33	1512.1	1	33			52	52.0		10.2	

名張郡(名賀郡)	名張市	蔵持田計	220 89 3,106	99 58 799	122.2 53.4 288.7	10	64	6 3 9	17 19 17	} 25 317	29.2	2.8 2.8	12.4 9.8		
		中村	中村	148	75	97.3			4	19	10		2.5	14.8	
			瀬古口	174	81	114.8	1	81			11	11.0		15.8	
	青蓮寺計		90 412	105 261	-14.3 57.9	7 1	15 81	7 11	15 16	11 32	11.0	1.6 1.9	8.2 12.9		
	比奈知	夏見	386	134	188.1	5	27			25	5.0		15.4		
		上比奈知	72	83	-13.3	3	28			8	2.7		9.0		
		下比奈知	342	106	222.6	3	35			27	9.0		12.7		
		奈垣	42	64	-34.4			6	11	7		1.2	6.0		
		神屋	86	105	-18.1	4	26			9	2.3		9.6		
		布生	103	141	-27.0	6	24			14	2.3		7.4		
長瀬		107	140	-23.6	6	23			11	1.8		9.7			
滝ヶ原計	147 1,285	191 964	-23.0 33.3	3 30	64 30	12 18	16 14	16 117	5.3 3.7	1.3 1.3	9.2 11.0				
	合計	6,561	3,301	98.8	57	36 (30)	105	12	632	8.4 (4.0)	1.6	10.4	()内は 築瀬を除く		
	伊賀全体 (上野市 中心部を 除く)	25,106	18,803	33.5	282	36~38	940	12~15	2,390	2.6~3.9	1.2~1.6	10.5	(中心集落を除く)		

注

※ いずれも新しい住宅団地を含まない。

※※ 上位小場・下位小場の区分は実態を考慮して行なった。

- 1 伊賀郡笠部は『宗国史』によれば2村あることになっている。
- 2 組数は現在の自治会組織の組数。

4. 小場の規模

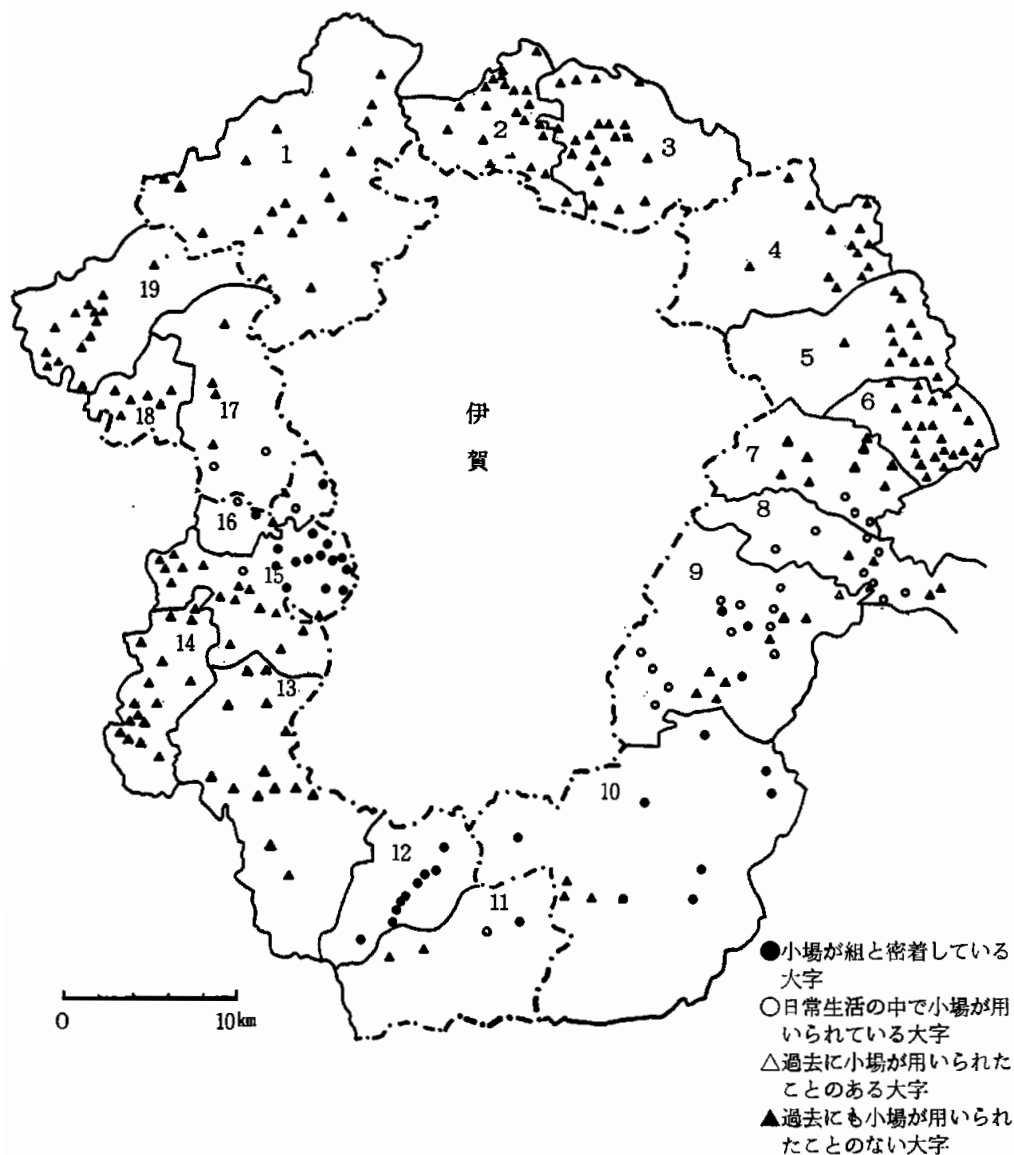
伊賀盆地の集落形態は周辺の山間部、丘陵部はもちろん平地部においても疎塊村または小村が卓越する。集中分散指数²⁾をもとめると旧国津村（名張市）4.3、旧依那古村（上野市）15.8、旧花之木村（上野市）17.6（いずれも昭和55年国勢調査による世帯数、地形図は1万分の1）となる。したがって景観上も小場を把握することのできる場合が多い。上神戸（上野市）の押久保・我山・出屋敷・庄田・上庄田（上庄田のみ名張市）や朝屋（上野市）の北出・西出・南出・中村・小川原・出屋敷などの各小村はそれ自体完結した村になることができなくてもそれぞれ小地域集団を形成している。小地域集団である小場は上位小場と下位小場に区別され、近世、基準的には上位小場は36～38戸、下位小場は12～15戸で構成されていたと考えられる。伊賀では1藩政村当りの戸数が95³⁾であったから藩政村と上位小場と下位小場の規模は平均してほぼ9：3：1の関係となる。現在、自治会組織の隣組1組当りの世帯数は平均10.5である。したがって上位小場では2.6～3.9、下位小場では1.2～1.6の組を含む、（第3表）。前述の『宗国史』の戸数と昭和55年（1980）の国勢調査の世帯数の比較において増加率の高い大字、例えば佐那具・三田（上野市）、平尾・下比奈知（名張市）、上柘植（伊賀町）、阿保（青山町）などは近世の小場に多くの組数を含むことになるのは当然で増加率の低い大字あるいは逆に減少を来たしている大字では両者の数がほぼ等しくなるのとは対照的である。このことは従来の小場の構造機能に変化を与えてきたファクターの一つであることには間違いない。

これらの関係を愛田（伊賀町）でみることにする。『宗国史』の戸数104、昭和55年（1980）の国勢調査の世帯数113、増加率にして8.7%でほとんど増減がなかったと考えてよい。上位小場数は9であるが、すべて下位小場数になおすと12となり、1小場当りの戸数は9となる。明治4年（1871）の「組請合申一札之事」（愛田区有）⁴⁾によってみると、五人組として惣吉組8、卯平治組6、惣右衛門組9、与八組10、文四郎組6、牧右衛門組7、藤助組8、文太組7、源五郎組8、松兵衛組10、計79となり、『宗国史』の戸数104との間にはひらきがあるが、五人組が10組あったことがわかる。現在の組数は11で五人組の数とほぼ等しい。したがって愛田では下位小場数12、五人組数10、現在の組数11の関係を知ることができる。いっぽう後述する真泥（大山田村）のように1小場平均54戸を含むにもかかわらず下位小場をもたず直接組に結びついていたと考えられるものもあり、また西山（上野市）のように上位と下位の関係が系列化しているもの、さらに瀬古口（名張市）のように1藩政村1小場のもの、西条（上野市）のように「小場名なし」というものもある。したがって小場を次のように類型化することができる。

- (1) 上位小場のみで組に直結するもの
例 真泥・平田（以上大山田村）、長田・波多野（岩倉）・比土（以上上野市）
- (2) 上位小場、下位小場が系列化しているもの
例 島ヶ原（島ヶ原村）、西村・西山・安場・法花（以上上野市）
- (3) 下位小場のみで組と一致するもの
例 愛田（伊賀町）・白樫・大野木（以上上野市）・伊勢地（青山町）・下阿波（大山田村）
- (4) 1村1小場のもの
例 瀬古口・鷯山・平尾・南出・北出（以上名張市）
- (5) 小場名のないもの

例 西条・東条・印代・坂ノ下・外山（以上上野市）

小場は藩政村の単位である面もあることは大きな藩政村に庄屋2人を置き、その単位が小場であったことによってもわかる。下位小場と五人組の関係については明らかでないが、前述の愛田などの分析によって正しく把握できるかもしれない。いずれにしても両者がか



第3図 伊賀隣接市町村の小場呼称

- | | | |
|----------------|----------|--------------|
| 1. 信楽町 | 2. 甲南町 | 3. 甲賀町 (滋賀県) |
| 4. 関町 | 5. 芸濃町 | 6. 安濃町 |
| 7. 美里村 | 8. 久居市 | 9. 白山町 |
| 10. 美杉村 (三重県) | 11. 御杖村 | 12. 曾爾村 |
| 13. 室生村 | 14. 都祁村 | 15. 山添村 |
| 16. 月ヶ瀬村 (奈良県) | 17. 南山城村 | 18. 笠置町 |
| 19. 和東村 (京都府) | | |

なりの程度にわたってオーバーラップしているとみてよいが、小場はやはり制度的単位ではなく自生的な社会組織の単位であると考えたい。平田（大山田村）の上中島小場における弘化2年（1845）の「小場限り検約締り方之事」⁵⁾や島ヶ原の明治21年（1888）の「島ヶ原村町小場申合規約」⁶⁾によってみるに制度の中に組み込まれながらも小場は自主的、自制的意識が存在していたことを認めることができる。

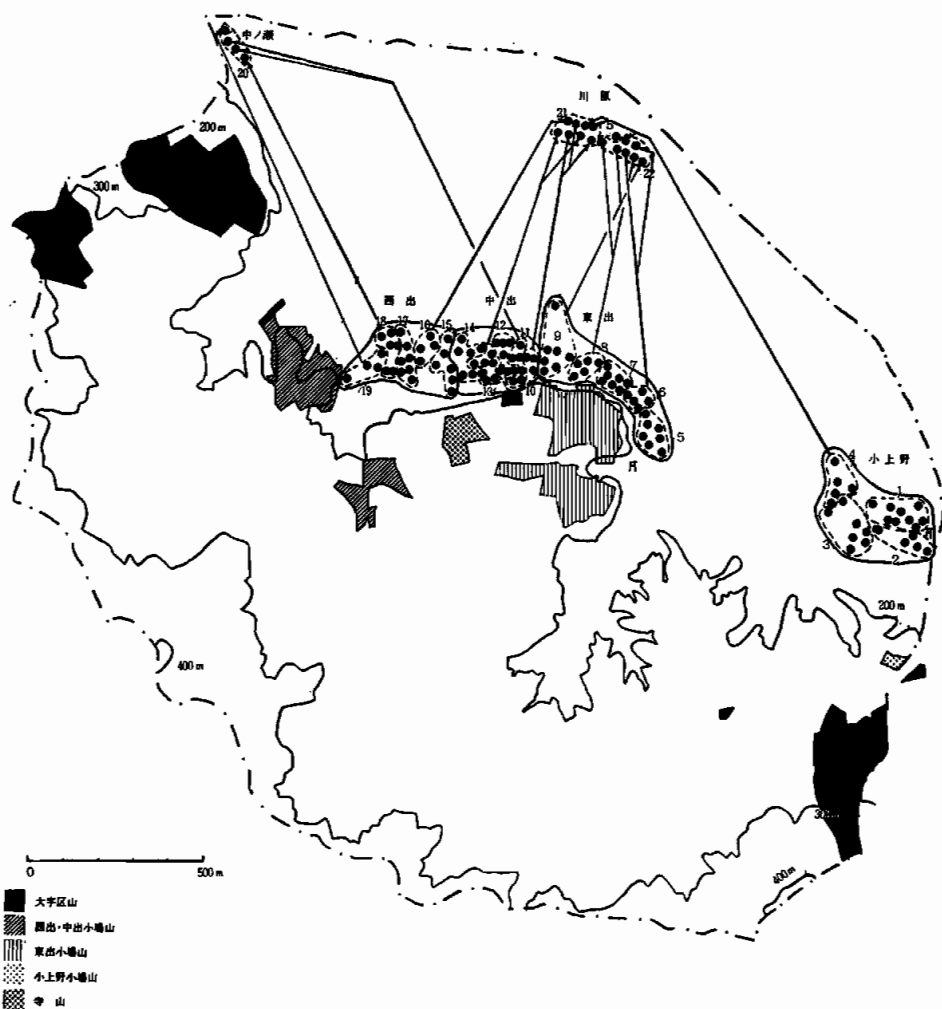
5. 伊賀隣接市町村における小場の呼称

小地域集団に対する小場の呼称は伊賀固有のものでいわば伊賀文化圏を象徴する。したがって伊賀をとりまく隣接市町村で小場呼称がどのような形で分布しているかをみる必要がある。隣接市町村には信楽町・甲南町・甲賀町（滋賀県）、関町・芸濃町・安濃町・美里村・久居市・白山町・美杉村（三重県）、御杖村・曾爾村・室生村・都祁村・山添村・月ヶ瀬村（奈良県）、南山城村・笠置町・和東村（京都府）がある。各町村教育委員会または各市町村連絡事務所などに対し次のようなアンケート調査を依頼した。(1)現在、「小場」の呼称が組単位に定着している。(2)現在、「小場」の呼称が日常生活の中で時々用いられることがある。(3)現在、「小場」の呼称が日常生活の中でも用いられていないが、かつて用いられていたことがある（そのように思われる）。(4)過去も現在も「小場」の呼称が用いられたことがない（そのように思われる）。以上の中から選んで大字別に記入してもらい、これを地図化したものが第3図である。

これによってみると(1)については奈良県山辺郡山添村のうちの旧波多野村、同じく宇陀郡曾爾村・御杖村、三重県的美杉村から白山町に及んでいる。(2),(3)については奈良県添上郡月ヶ瀬村、三重県白山町から久居市の旧榊原村、旧稲葉村、旧七栗村、さらには美里村に及んでいる。これらのことは小場呼称が中世末、近世初頭以前、伊賀に含まれていた地域に多く残存しているとうけとめることができる。承平4年（934）の「伊賀国夏見郷刀祢解案」（伊勢市光明寺古文書）に四至所在地名として大良牟（三重県美杉村太郎生）・菅野・土屋原・上家（神末）（奈良県御杖村）・曾兒（奈良県曾爾村）が記され、また天平19年（747）の「大安寺伽藍縁起并流記資財帳」（奈良市正暦寺蔵）にある伊賀郡太山蘇麻庄は田山（京都府南山城村）に、天治元年～久安5年（1134～45）の「伊賀国大田文断簡」（東京大学史料編纂所蔵）にある石打庄は石打（奈良県月ヶ瀬村）にそれぞれあたり、今日の奈良県山添村領域にかけての東大寺領板蠅袖も伊賀であった。白山町から久居市にかけての小場呼称の残存は曾爾・御杖・美杉に起生したものが雲出川水系に沿う交通路によって伝播したものと考えられる。布引山地は障壁をなし、これを越えての伝播ではないように思われる。以上のことから推測の域を出ないが、小場呼称の起源は近世以前に当時の伊賀国領域の中に発生したと考えられ、藤堂藩成立に先行する自生的な社会集団の単位であると考えたい。

6. 大山田村真泥の場合

阿山郡大山田村真泥（山田郡真泥村）を例として小場の実態を述べることにする。真泥は山田盆地の西南端を占め、北には布引山地に源を発する服部川が西流する。服部川の旧河道は現在の河道に比して南にかたより集落との間には現在も二条の自然堤防の痕跡が認められる。村の領域面積は308町4反25歩（約306 ha）、うち田113町9反2畝12歩（約112 ha—36.9%）、畑15町4反5畝19歩（約15 ha—5.0%）、山林146町1反1畝16歩（約145 ha—47.4%）でこの中に広瀬（大山田村）北方の飛地、真泥山（東山）（15町2反8畝<



第4図 大山田村真泥の小場と小場山 1～22は組番号→それぞれの小場に属していることを示す

約15ha>)を含む。『宗国史』(寛延年間<1748~51>)によれば人口956, 戸数216, 明治22年(1889)には人口849, 戸数163, 昭和55年(1980)の国勢調査では人口608, 世帯数136で『宗国史』に比して昭和55年には人口で36.4%, 世帯数(戸数)で37.0%の減少である。

真泥は西出, 中出, 東出, 小上野の4小場からなる。西出は5組, 27戸, 中出は5組36戸, 東出は5組, 38戸, 小上野は4組, 26戸からなり, 他に近世末に成立したと考えられる枝村, 中ノ瀬1組, 4戸と川原2組, 15戸があって計146戸(以上昭和55年<1980>の国勢調査では136世帯)から成り立っている。二つの枝村の各戸はいずれも4小場のいずれかに帰属し, 枝村自体としては半独立の性格を有しているにすぎない。枝村の戸数を4小場に加えると西出30戸, 中出36戸, 東出38戸, 小上野29戸となり, その他いずれの小場にも属さない転入者がいる(第4図)。西出では西姓が57%, 中出では中姓, 中出姓が69

％、東出では東姓が74％、小上野では上田姓が62％に及んでいる。自治会の組織は大字全体をまとめる区長のもとに小場長とも呼ばれる総代が各小場ごとにいてそのもとに組長がそれぞれ含まれている。明治39年（1906）の「神社合祀訓令」によって植木神社（大山田村平田）に合祀されるまで各小場に神社があった。『宗国史』には「豊松明神、勝手明神、子守明神、右西小場氏神、神明三十八社、八幡、右東小場氏神、稲荷、愛宕、牛頭」とあり、現在、西出、中出では豊松社、東出では八幡社、小上野ではサンデ社がそれぞれ祀られ、いずれも10月16日、小場の住民が参籠して祝詞をあげる行事が行なわれている。墓地（埋葬）は小上野を除く他の小場ではこれを共有し、十念寺（曹洞宗）にある詣墓と合せて両墓制をとっている。水利は上流の中島井手と下流の真泥井手によってそれぞれ服部川から引水して灌漑し、大字の水利組織は一元化している。小場の結合を固めているもっとも重要な紐帯は林野で小場山と呼ぶ。小場山には西出・中出小場山（神社有）3町2反1畝（約3ha）、東出小場山（神社有）4町2反7畝（約4ha）、小上野小場山（神社有）1反2畝（約0.1ha）があり、その他、大字区山9町4反（約9ha）、十念寺の寺山6反3畝（約0.6ha）がある。大字区山の中には各小場に属する組ごとの組山が含まれ、権利保有のまま離村した割山所有者の持分が管理されている（第4図）。

む す び

伊賀固有の小地域集団としての小場名が18世紀後期に町井貞応によってまとめられた『伊賀国中小場名寄』の中に村別に記載されている。これらの小場名には現在も地域に定着しているものから推定を要するものまでである。小場は上位と下位とに区別され、近世、基準的には上位小場は36～38戸、下位小場は12～15戸で構成されていたと考えられる。小場は制度の中に組み込まれていたことを否定することはできないが、もともと自生的な社会組織の単位であったと把握される。小場の呼称は伊賀のみならずこれに隣接する地域にもひろがりを見せている。中世末、近世初頭以前に伊賀国であった奈良県御杖村、曾爾村、山添村（波多野地区）、月ヶ瀬村、京都府南山城村、三重県美杉村を含め、当時の伊賀国領域の中に藤堂藩成立以前に発生したと考えられる。小場の構造、機能についての詳細な研究は他日を期したいと思うが、本稿では事例として大山田村真泥の場合についていささかふれる程度にとどめた。この中で小場の結合を固めているもっとも重要な紐帯が小場山であることを指摘しておきたい。

注

- 1) 石原潤「ムラの中の小地域集団」人文地理 16—2
 石原潤「集落形態と村落共同体—特に讃岐の事例を中心に—」人文地理 17—1
 石原潤「防長における村と小地域集団」（西村睦男編『藩領の歴史地理—萩藩—』）
 近藤忠「藩政村の集落構成—紀州における—」人文地理 19—2
 松本博之「小豆島における小地域集団の発生とその性格」人文地理 27—5
 山澄元「萩藩藩政村における知行地の構造—当島宰判紫福村を例として」（西村睦男編『藩領の歴史地理—萩藩—』）
- 2) 石原潤「集落形態と村落共同体—特に讃岐の事例を中心に—」人文地理 17—1
 P = 集中分散指数
 F = 昭和28年までの行政村単位の農家戸数
 n = 各行政村域内の家屋群の数、この場合ある家屋群から50m以内にある家屋群は同一の家屋群に属するものとみなした。

$P = \frac{F}{n}$ によって集村地域, 非集村地域 (疎塊村地域, 小村地域, 散村地域) に区分

- 3) 山澄元「幕末・明治前期の村落規模」大阪学芸大学紀要第12号
- 4) 伊賀町役場編『伊賀町史』p. 275~6, 昭和54年
- 5) 大山田村史編纂委員会編『大山田村史上巻』p. 606~7, 昭和57年
- 6) 島ヶ原村史編纂委員会編『島ヶ原村史』p. 487~9, 昭和58年

Summary

A group of over ten houses or dozens of houses in a village is called a small area group. There are various terms for a small area group according to each district. For instance "kaito" in Nara Basin, "memba" and "dōgyo" in Sanuki, "hōgiri" and "kado" in Satsuma and Ōsumi, Kagoshima Prefecture, "kumi" and "kō" in Suō and Nagato, Yamaguchi Prefecture, "kona" in Kii, "fure" and "kōjyū" in Iki Island, and "Jyo" in Syōdo Island. Such a small area group is called "koba" in Iga. Names of all "koba" are written in a special list called "Iga-ko-kujyū-nayose," published in the late 18th century. "koba" is divided into upper class and lower class. The former contains 36~38 houses, the latter contains 12~15 houses. The origin of "koba" is not clear, but word "koba" itself is still used in the cities and villages adjacent to Iga. They are recognized in the greater Iga which existed before the 16th century. This included for instance, Yamazoemura, Tsukigasemura, Sonimura and Mitsuemura in Yamato, Minamiyamashimomura in Yamashiro and Misugimura in Ise. Therefore the word "koba" itself seems to date from before the 16th century.

For instance Midoro, a Village in Ōyamadamura consists of four "koba"s, namely: Nishide, Nakade, Higashide and koueno. Each of these "koba"s possesses a common forest which in turn forms a common bond between the people living there. This village, Midoro is thus governed through the local community head (jichikaichō) who then operates through the four "koba" leaders (kobachōs). Each of these in turn works through a member of team leaders (kumichōs)

Within this system, therefore, it can be seen how effectively the local community (jichikai) can function. This is due especially to the existence of "koba" which holds its members together through their common property.